

お知らせ

2月にお誕生日を迎える皆さん、心からお祝いいたします。

1日.柳 智愛 4日.柳 紗也音 8日.北原 更一
10日.後藤 まゆみ 17日.松島 浩一

教会の働き

創立 32 周年記念礼拝

2月22日(日)は、飯田福音教会 創立 32 周年記念礼拝です。また、午後には創立 32 周年お祝い礼拝を行います。これまで教会を守り導いてくださった主に感謝し、共に喜びを分かち合う時といたします。当日は、記念品も用意しております。この恵みの機会に、ご家族やご友人もぜひお招きください。共に主の恵みと喜びを分かち合いましょう。

- 2月2日より、柳ナラ姉妹が、語学留学のため韓国へ渡り、延世大学で学ばれることになりました。滞在中の健康と安全、学びの実り、生活のすべてが主にあって守られ、祝福されますように、どうぞ覚えてお祈りください。
- 夕方賛美礼拝の後 2 月教会運営会議をします。
- 2 日(月)日本福音宣教連合の市原のぞみ福音教会創立&献堂礼拝に参加します。
- 5 日(木)午後 7 時～ 女性宣教会の役員会があります。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。



渇きの中でも枯れない人生
エレミヤ書 17 章 5～8 節

…【主】に信頼する者に祝福があるように。その人は【主】を頼みとする。その人は、水のほとりに植えられた木。流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、実を結ぶことをやめない。

聖餐式・招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを願っている者は、全てのこの聖餐に招かれています。いずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきであります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るように祈ります。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 北原孝子(祈祷)
夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 北原明子(祈祷)
水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 柳澄香(祈祷)

2026 年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされるように。

週報 2026-5 号

2026.2.1

神の計画の中を歩む教会

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)
代表祈禱	高木はつ江
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
お知らせ	
聖書箇所	エレミヤ書 17 章 5~8 節 (渇きの中でも枯れない人生)
メッセージ	柳承吉牧師
聖餐式	讃美歌 205
賛美	神の家族
祝 禱	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード	韓芽唯
代表祈禱	鈴木真由美
聖書箇所	ルカの福音書 11:21-28 (主イエス様と真の交わり 2)
メッセージ	柳承吉牧師
主の祈り	

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	柳澄香
代表祈禱	北原孝子
聖書箇所	ローマ書 9 : 8-13
メッセージ	ローマ書 9 章の概略(4) 柳承吉牧師
主の祈り	

今週の御言葉 「渇きの中でも枯れない人生」

エレミヤ書 17 章 5~8 節

愛する聖徒の皆さん。私たちが互いに顔を合わせるとき、つい口にする言葉があります。「最近どうですか」ところが返ってくる答えは、「何とか…」「ぎりぎりです」「しんどいです」というものが多いのではないのでしょうか。心が乾き切ってしまうような日々を、私たちは「早ばつ」のように感じます。しかし、聖書は語ります。早ばつそのものが問題なのではありません。問題は、そのとき、私たちは何を頼りにしているのかです。今日の本文は、渇きの中でも枯れない人生の姿を、はっきり示してくれます。

エレミヤが仕えた時代、ユダ王国は滅亡の危機にありました。新興の大国バビロンが迫る中で、民は主に立ち返るのではなく、エジプトなど周辺国の力を頼ろうとしました。けれども、それは人間的には賢く見えても、霊的には最も危険な道でした。結局、ユダは滅び、エルサレムは崩れ、民は捕囚となりました。主が語られたのは、危機の時ほど、世の力に寄りかかるな。主に信頼せよという命の道でした。本文は、二つの人生を二本の木にたとえます。ひとつは「荒れ地の灌木」。もうひとつは「水のほとりに植えられた木」です。木は、どこに植えられるかで運命が決まります。同じように、人も何に根を下ろすかで人生が決まります。主はこう言われます。「人間に信頼する者はのろわれよ。肉なる者を自分の腕とし、心が【主】から離れている者は。」(エレミヤ 17:5) 人間に信頼するとは、単に友人を信じるという意味ではありません。神の代わりに、人や世の仕組みや、自分の力を最終的な拠り所にするということです。その人は「幸せが訪れても出会うこ

とはなく、焼けついた荒野…塩地に住む」(17:6)と言われます。外側が一時うまくいっても、心の内側は潤わない。乾きが消えないのです。特に、富への依存は聖書が繰り返し警戒します。富は必要です。しかし、心の王座に座ってしまうと、人を壊します。イエス様ははっきり言われました。「あなたがたは神と富とに仕えることはできません。」(マタイ 6:24) 心の中心の席は一つです。そこに主がおられるとき、人は立ちます。そこに富や不安や世の評価が座るとき、人は揺らぎます。

では、渇きの中でも枯れない人生とは誰でしょうか。主はこう言われます。「【主】に信頼する者に祝福があるように。その人は【主】を頼みとする。」(エレミヤ 17:7) 暑さも日照りも来ます。問題も来ます。けれども、その人は「枯れない」。なぜでしょうか。根が水源につながっているからです。ここで大切なのは、ただ水の近くにいるだけではないことです。本文は言います。「流れのほとりに根を伸ばし」(17:8)。つまり、決め手は“根”です。

信仰の強さとは、枝を大きく見せることではありません。外側を立派に見せることでもありません。根をどこまで深く主に下ろしているかです。困難の時ほど、根を深くするのです。祈り、みことば、礼拝、悔い改め、主への信頼、そこに根が伸びるとき、状況が早ばつでも、内側は潤います。

今日、私たちはどちらの木として生きているのでしょうか。荒野に植えられた木でしょうか。水のほとりに植えられた木でしょうか。中間はありません。主は私たちを、命の道へ招いておられます。どうか、渇きの中でも枯れない人生人として、主に信頼し、主にとどまり、主の教会につながり、今週も歩んでまいりましょう。